

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	おきなわ工芸の杜	対象年度	令和7年度
------	----------	------	-------

【 目 次 】

I. 履行確認・評価

1. 維持管理業務	2
(1) 清掃	
(2) 保守・点検	
(3) 保安・警備	
(4) 小規模修繕	
(5) 備品購入	
(6) 防犯・防災対策	
(7) 料金徴収業務	
2. 運營業務	5
(1) 利用実績	
1) 利用者数等（又は入居率等）	
2) 施設稼働率	
3) 教室・イベント等参加者数	
(2) 運営企画	
(3) 受付・接客	
(4) 広報	
(5) 情報管理	
3. 自主事業	8

II. サービスの質の確認・評価 9

III. 財務状況の確認・評価 10

1. 事業収支	
(1) 収入	
(2) 支出	
2. 経営分析指標	

IV. 総合評価 12

1. 目標	
2. 評価結果	

附表 経営状況分析シート 13

その他 アンケート様式 14

※必要に応じて項目を追加・削除する。

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	おきなわ工芸の杜	対象年度	令和7年度
指定管理者	おきなわ工芸の杜共同企業体 (構成員名:株式会社沖縄TLO、株式会社沖縄ダイケン) 指定期間:令和7年4月1日～令和10年3月31日	所管課	商工労働部 ものづくり振興課

Ⅰ. 履行確認・評価

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
〈日常清掃〉		○	基準表及び業務実施要領に基づき効率的かつ効果的に実施	指定管理者からのヒアリング及び業務日誌等で確認。	事業計画の通り実施されている。	良好。今後も適切な衛生管理に努める。
〈定期清掃〉		○	床面洗浄、ワックス塗布、カーペット、ガラス清掃を定期的実施	事業報告書のとおり適切に実施されている。		

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
貯水槽清掃		○	1回／年	指定管理者からのヒアリング及び点検書類にて確認。事業報告書のとおり適切に実施されている。	事業計画の通り実施されている。	良好。今後も適切な衛生管理及び環境整備に努める。
植栽の除草作業		○	4回／年			
自家用電気工作物 保安管理業務		○	月次点検12回／年 年次点検1回／年			
非常用発電機保守点検		○	機能点検1回／年 総合点検1回／年			
空調設備保守点検		○	2回／年			
消防設備保守点検		○	機器点検2回／年 総合点検1回／年			
防火対象物定期検査		○	1回／年			
昇降機設備保守点検		○	月次点検12回／年 定期点検4回／年 性能検査1回／年			
入退館設備保守点検		○	1回／年			
空気環境測定		○	6回／年			
作業環境測定		○	2回／年			
飲料水水質検査 ・一般16項目 ・一般11項目 ・特殊12項目		○	1回／年			

飲料水残留塩素測定		○	1回／週	指定管理者からのヒアリング及び点検書類にて確認。事業報告書のとおり適切に実施されている。	事業計画の通り実施されている。	良好。今後も適切な衛生管理及び環境整備に努める。
簡易水道検査		○	1回／年			
排水水質検査		○	1回／年			
ねずみ・こん虫防除		○	3回／年			
局所排気装置の点検		○	12回／年			
空調室内機・全熱交換機定期点検		○	2回／年			
空調室外機簡易目視点検		○	4回／年			
工芸機器等の点検	○	○	12回／年			

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
防災、空調、設備機器の保守管理		○	総合設備管理	事業報告書のとおり適切に実施されている。	事業計画の通り実施されている。	良好。今後も引き続き施設の安全確保に努める。
機械警備		○	開館日、休館日の9時～18時は指定管理者にて巡回を実施。18時以降はセンサーによる機械警備により、異常があれば警備員が現場確認。			

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
補修・修繕・更新の必要が生じた場合は工事計画をサポートする。軽微な修繕による修復は速やかに対応。	○	○	故障した設備の修理。	施設の機能維持、安全管理のための修繕が実施されていた。	状況に応じ適切に業務が実施されている。	良好。不具合への対応については今後も柔軟に対応し、施設機能の維持に努める。

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
備品の購入	○		エントランスホール三面サイネージ修繕のため、サイネージ用PC部品を購入。	報告書のとおり適切に実施されていた。	状況に応じ適切に業務が実施されている。	良好。引き続き適切な備品管理に努める。

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
消防計画の策定 消防設備保守点検	○	○	防災訓練を実施 消防設備保守点検(機器点検、総合点検)を実施 防火設備(防火戸)、排煙窓の修繕等。	指定管理者からのヒアリング及び関係書類にて確認。報告書のとおり適切に実施されていた。	適切に業務が実施されている。	良好。引き続き適切な安全管理に努める。

(7)料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設利用料の徴収	○		窓口支払い(現金・キャッシュレス対応)または口座振り込みにより施設利用料を徴収。領収証は窓口にて発行。	指定管理者からのヒアリング、料金徴収フロー図、出納簿にて確認。事業報告書のとおり適切に実施されている。	適切に業務が実施されている。	良好。引き続き適切な施設管理に努める。

※必要に応じて項目を追加・削除して記入すること。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

1. 維持管理業務 取組改善案	適切な管理業務が実施された。今後も来館者や入居者が安全・安心に利用できるよう、適切な施設の管理運営に努める。
--------------------	--

※「1. 維持管理業務」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度($\alpha + 1$ 年度)の主な取組改善案を記入すること。

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

	令和6年度実績	事業計画 (目標値)	令和7年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
				前年比	計画比	
利用者数及び来館者数	154,007	150,000	209,755	136.2%	139.8%	令和5年度から強化しているSNS等での情報発信を継続して行ったことや、貸会議室をまとめたポータルサイトへの掲載更新等、イベントでの利用促進についても注力したことから、令和6年度よりも多くの集客を図ることができた。引き続き、工芸関係のイベント受け入れや近隣施設・周辺自治体等との連携を強化し、施設の認知度向上及び施設利用者の増加に努める必要がある。
利用者数(延べ人数)	56,588	50,000	61,887	109.4%	123.8%	
施設利用(入居者)	4,956		5,611			
貸し工房	3,158		3,978			
体験工房	1,798		1,633			
施設利用(一般)	28,420		33,988			
多目的室(工芸)	6,700		5,994			
多目的室(工芸以外)	10,161		13,324			
エントランスホール(工芸)	1,216		1,330			
エントランスホール(工芸以外)	1,636		2,345			
企画展示室(工芸)	1,418		2,650			
企画展示室(工芸以外)	1,790		3,382			
共同工房(染物)	875		1,408			
共同工房(染織共通)	160		308			
共同工房(織物)	281		275			
共同工房(漆芸)	1,631		736			
共同工房(木工・三線)	1,716		1,333			
共同工房(工芸縫製)	412		431			
共同工房(金細工)	424		472			
附属設備利用	13,808		13,450			
機械器具利用	9,404		8,838			
共同工房(染物)	372		1,121			
共同工房(織物)	1,905		1,309			
共同工房(漆芸)	260		62			
共同工房(木工・三線)	4,767		4,314			
共同工房(工芸縫製)	1,428		1,381			
共同工房(金細工)	672		651			
来館者数	97,419	100,000	147,868	151.8%	147.9%	
一般(個人・団体)	85,825		128,853			
工芸研修生	4,366		3,566			
体験(個人・団体)	7,228		15,449			
				評価(①利用状況)	S	

【評価基準(①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

[1] 入居率等] ※利用者数等で測れない施設は「1) 利用者数等」に代えて記載

		令和6年度実績	事業計画 (目標値)	令和7年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
入居率	21室/23室	87.0%	95.7%	91.3%	105.0%	95.5%	令和7年12月から翌年1月にかけて、次年度入居に向けた審査を行い、令和8年4月から貸し工房は17室入居となっている。
	貸し工房(18室)	15室	17室	16室	94.1%	94.1%	
	体験工房(5室)	5室	5室	5室	100.0%	100.0%	
入居率等を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。					評価(①利用状況)		

【評価基準 (①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上、もしくは満室

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

2) 施設稼働率

		令和6年度実績	事業計画 (目標値)	令和7年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
平均稼働率		16.4%	14.0%	16.9%	102.8%	120.5%	多目的室、エントランスホールや展示室などにおいて令和6年度を上回る稼働率となっている。 引き続き、工芸関係者向けに施設利用の周知を強化し、各分野の関係者の利用促進を図る必要がある。
施設利用		36.3%	34.0%	37.4%	103.0%	110.0%	
	貸し工房	90.5%		86.8%			
	体験工房	100.0%		100.0%			
	多目的室	47.7%		65.1%			
	エントランスホール	24.0%		37.7%			
	企画展示室	27.9%		44.6%			
	共同工房(染物)	5.2%		6.5%			
	共同工房(染織共通)	7.3%		5.6%			
	共同工房(織物)	4.8%		5.8%			
	共同工房(漆芸)	51.9%		20.2%			
	共同工房(木工・三線)	32.3%		31.4%			
	共同工房(工芸縫製)	22.1%		22.2%			
	共同工房(金細工)	21.9%		22.9%			
附属設備利用		8.1%	5.0%	6.6%	81.5%	132.0%	
機械器具利用		4.8%	3.0%	6.6%	137.0%	220.0%	
	共同工房(染物)	8.2%		21.9%			
	共同工房(織物)	6.6%		3.7%			
	共同工房(漆芸)	0.6%		0.4%			
	共同工房(木工・三線)	4.3%		4.7%			
	共同工房(工芸縫製)	6.4%		6.0%			
	共同工房(金細工)	2.8%		2.9%			
平日・土日祝日別稼働率							

【評価基準 (①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

3) セミナー・ワークショップ等

	内容	令和6年度実績	事業計画	令和7年度実績	整合性の検証		現状分析・課題
					前年比	計画比	
セミナー・ワークショップ	入居者・県内事業者、異業種等との交流会	2	2	2	100.0%	100.0%	良好。引き続き異業種交流会の開催や、入居者や工芸関係者を対象としたセミナー・ワークショップを実施する必要がある。
	入居者向けセミナー・WS、交流会	7	4	9	128.6%	225.0%	
計		9	6	11	122.2%	183.3%	

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈開館日数〉308日	開館日数:309日 臨時開館:1日(1/19)	報告書のとおりである。	報告書のとおりである。	適切な開館日数、開館時間である。臨時開館の手続きも適切であった
〈開館時間〉9時～18時	開館時間 9時～18時			

(3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設案内	○		窓口業務 工芸の杜の目的・役割の説明 施設全体の案内 イベント利用者のサポートなど	報告書のとおり適切に実施されている。	計画の通り実施されている。	良好。今後も引き続き入居者や一般来館者への丁寧な対応に努める。
入居者支援	○		入居者の事業支援、相談対応、要望への対応など			

(4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
HPの定期更新及びSNSでの情報発信	○		施設利用及びイベントに関する情報発信を実施。SNSでは1年間で1,000人以上フォロワーを増やした。	報告書のとおり実施されている。	計画の通り実施されている。	良好。イベントやセミナー、体験プログラムに関するお知らせを中心に定期的に更新されており、SNSでの情報発信の強化は来館者の増加に寄与する取組である。
工芸品及び工芸従事者に関する情報発信	○		常設展示の更新・修正	報告書のとおり実施されている。	計画の通り実施されている。	良好。施設や工芸産地の振興のため、今後も積極的な情報発信を実施する必要がある。
			リーフレット配布			
			入居者及び工芸従事者のイベント情報発信(ちらし設置等)			
県・市町村、関係団体、観光業界、マスコミ等との連携	○		TV番組等の撮影対応	報告書のとおり実施されている。	関係者と連携し、適切に対応している。	良好。TV番組をはじめとした取材等については、施設や工芸産業のPRのため今後も引き続き対応する。

(5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
個人情報保護に関する法令等を遵守し、個人情報の漏洩、改ざん等の防止及び適正管理に努める。	○		個人情報書類は施錠可能なキャビネットで保管	報告書のとおり実施されている。	計画の通り実施されている。	良好。今後も引き続き適正な管理に努める。

3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設利用者支援 【収入】 286,000円	－	○	【実績】586,790円 コピーサービス、 出展支援他	報告書のとおり実施されている。	計画の通り実施されている。	良好。利用者のニーズに合わせ、適切に実施している。今後も引き続き施設利用者への適切な支援事業を実施する必要がある。
イベント出展料 【収入】 70,000円	－	○	【実績】42,000円 夏の工芸ものづくり体験 出展:13団体(うち入居者6団体) 来場数:2,740人		計画の通り実施されている。	おおむね良好。イベントやワークショップの実施は、作り手と使い手の交流に資する取組である。施設利用促進や活性化のため、引き続き実施する必要がある。
ワークショップ 【収入】 690,000円	－	○	【実績】479,100円 ①木工ワーク ショップ 体験者:829人 ②染織ワーク ショップ 体験者:482人 ③夏休みイベント 体験者:170人			
商品販売等 【収入】 1,102,200円	－	○	【実績】1,044,015円 工芸品の販売		計画の通り実施されている。	カフェ及び工芸品の販売は、施設の利便性向上に寄与する取組であるため、開店日を増やす等、施設利用者のニーズに合わせた効果的な事業実施が期待される。
施設見学 【収入】 874,500円	－	○	【実績】44,000円 有料ガイドツアー		計画の通り実施されている。	沖縄の工芸の認知度向上に寄与する取組である。広報周知の点で課題があるため、引き続き、効果的な事業実施に取り組む必要がある。
その他 【収入】 0円	－	○	【実績】1,078,760円 木材加工受託、 イベントグッズ等 販売手数料		適切に実施している。	良好。利用者のニーズをとらえた取組であり、今後も効果的な事業実施が期待される。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	事業計画に基づき、おおむね良好に実施している。施設の認知度及び稼働率向上のため、引き続きSNS等を活用した県民等への広報及び工芸関係者への施設機器利用に関する周知を実施するとともに、観光客に向けて旅行者等への周知等を実施していく必要がある。
-----------------------------	--

※「2. 運営業務」「3. 自主事業」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(α+1年度)の主な取組改善案を記入すること。

Ⅱ．サービスの質の確認・評価

アンケート実施方法		アンケート及び要望受付		回答者数		263		アンケート内容		別紙参照	
評価項目		第三者(利用者等)評価				指定管理者		現状分析・課題			
		令和6年度評価	令和7年度目標	令和7年度評価							
維持 管理 業務	施設・設備 管理(施設 について)	〈満足度〉93.4% (※1) ・とても良い56.5% ・良い36.9% ・普通6.5% ・悪い0.0% ・とても悪い0.0%	〈満足度〉90%以上	回答数(221件) 〈満足度〉97.3% ・とても良い72.4% ・良い24.9% ・普通1.8% ・悪い0.9% ・とても悪い0.0%	S	(要望への対応) ①HPアクセス情報に「空手 会館駐車場の脇(左側)を直 進」を記載 ②貸し工房へコアタイム(11 時～16時)設定の働きかけ。 ③次年度より自主事業ワーク ショップの種類の増を検討 ③次年度より工芸ワーク ショップイベントの開催を検 討 (自己評価) 入居者及び来館者からの意 見・要望を踏まえ可能な分は 改善対応している。		来館者からの要望に 対して、適切に対応 している。施設として 来館者に満足いただ けるよう引き続き適切 な対応に努める。			
				〈意見・要望等〉 ①ホームページのアクセス案内に記 載が欲しい。空手駐車場の脇を入 る。 ②工房によって営業時間、日がバラ バラ。 ③POPの雑貨販売よりもっと工芸に関 するワークショップを増やしてほしい。							
運 営 業 務	接客対応	〈満足度〉80.0% (※1) ・とても良い49.2% ・良い30.8% ・普通19.6% ・悪い0.0% ・とても悪い0.4%	〈満足度〉90%以上	回答数(262件) 〈満足度〉91.2% ・とても良い62.2% ・良い29.0% ・普通8.4% ・悪い0.4% ・とても悪い0.0%	S	(要望への対応) (自己評価) 一般の方や工芸関係者など からの多岐にわたる問い合 わせ、相談等に適宜対応し た。		窓口や電話等丁寧に 対応している。引き続 き更なる満足度向上 に努める。			
				〈意見・要望等〉 特になし							
	施設・設備 (施設利用 の感想)	〈満足度〉90.4% (※1) ・とても使いやすい 63.5% ・使いやすい 26.9% ・普通9.6% ・使いづらい0.0% ・とても使いづらい 0.0%	〈満足度〉90%以上	回答数(41件) 〈満足度〉92.7% ・とても使いやすい 34.1% ・使いやすい58.5% ・普通4.9% ・使いづらい2.4% ・とても使いづらい 0.0%	S	(要望への対応) ・所管課への相談、提案など を実施 (自己評価) 意見・要望に適切に対応し ている。		入居者及び来館者か らの要望に対して、 適切に対応してい る。指定管理者と情 報交換を行い、利便 性向上のため今後も 引き続き適切な対応 に努める。			
		〈意見・要望等〉 ・金細工工房を部屋貸しではなく、区 画で分けて利用できるようにしてほ しい。									
	利用条件 (利用料 金)	〈満足度〉90.4% (※1) ・とても安い65.4% ・安い25.0% ・適当7.7% ・高い1.9% ・とても高い0.0%	〈満足度〉90%以上	回答数(41件) 〈満足度〉70.7% ・とても安い36.6% ・安い34.1% ・適当22.0% ・高い7.3% ・とても高い0.0%	B	(要望への対応) ・所管課に共有 (自己評価) 意見・要望に適切に対応で きている。		令和7年度より利用 料金の値上げがあつ たことが評価に影響 していると考え。県 と指定管理者で情 報交換を行い、引き 続き適切に対応して いく。			
		〈意見・要望等〉 ・機械器具を30分単位で利用できる ようにしてほしい。									
総合評価 (各評価項目の 平均)		〈満足度〉88.6% (※1)	〈満足度〉90%以上	〈満足度〉88.0%	評価 (②満足度)	(自己評価) 4項目中3つがS評価だが、 引き続き入居者及び来館者 からの意見・要望に対して適 切に対応するよう務める。		利用者からの要望や ご意見に適切に対応 し、一定の好評価を 頂いている。さらなる 満足度向上に向け、 引き続き丁寧な対応 に努める。			
					A						

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

※満足度とは、指定管理者が提供するサービスに対する利用者の満足度のことをいうものとし、回答選択肢のうち、中位を超える割合により算定するものとする。

【評価基準 (②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均
各評価項目においてはそれぞれの満足度

S : 90%以上

A : 80%以上、90%未満

B : 70%以上、80%未満

C : 70%未満

Ⅱ．サービスの質 の確認・評価 取組改善案	ご意見及びご要望等に対しては随時適切に対応し、引き続きアンケートや入居者面談から施設利用者及び来館者のニーズの把握に努める。
-----------------------------	--

※「Ⅱ．サービスの質の確認・評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(α+1年度)の主な取組改善案を記入すること。

Ⅲ. 財務状況の確認・評価

1. 収支

(1) 収入

収入項目		令和6年度実績	事業計画(当初)	令和7年度実績	前年比		計画比		特記事項(変更理由等)
					(金額)	(%)	(金額)	(%)	
利用料金収入	施設利用料(貸し工房・体験工房)	7,271,376	8,274,300	7,913,220	641,844	108.8%	-361,080	95.6%	
	施設利用料(多目的室等)	2,901,522	5,400,000	6,844,500	3,942,978	235.9%	1,444,500	126.8%	
	施設利用料(共同工房)	4,981,870	3,600,000	3,602,990	-1,378,880	72.3%	2,990	100.1%	
	附属設備利用料	216,410	192,000	225,450	9,040	104.2%	33,450	117.4%	
	機械器具利用料	1,343,670	1,128,000	1,895,240	551,570	141.0%	767,240	168.0%	
	キャンセル料	0	60,000	111,630	111,630	#DIV/0!	51,630	186.1%	
計		16,714,848	18,654,300	20,593,030	3,878,182	123.2%	1,938,730	110.4%	
指定管理料		69,257,000	66,959,000	67,577,000	-1,680,000	97.6%	618,000	100.9%	
自主事業収入	施設利用者支援	313,530	286,000	586,790	273,260	187.2%	300,790	205.2%	
	出展料	45,500	70,000	42,000	-3,500	92.3%	-28,000	60.0%	
	ワークショップ	468,236	690,000	479,100	10,864	102.3%	-210,900	69.4%	
	商品販売	1,853,286	1,102,200	1,044,015	-809,271	56.3%	-58,185	94.7%	
	施設見学	0	874,500	44,000	44,000	#DIV/0!	-830,500	5.0%	
	その他	870,000	0	1,078,760	208,760	124.0%	1,078,760	#DIV/0!	
計		3,550,552	3,022,700	3,274,665	-275,887	92.2%	251,965	108.3%	
維持管理費	光熱水費	9,488,170	10,221,600	11,621,409	2,133,239	122.5%	1,399,809	113.7%	
	通信運搬費	143,310	132,000	140,161	-3,149	97.8%	8,161	106.2%	
	共益費	420,901	330,000	408,874	-12,027	97.1%	78,874	123.9%	
計		10,052,381	10,683,600	12,170,444	2,118,063	121.1%	1,486,844	113.9%	
雑収入		261,030	0	207,590	-53,440	79.5%	207,590	#DIV/0!	
合計(A)		99,835,811	99,319,600	103,822,729	3,986,918	104.0%	4,503,129	104.5%	
(現状分析・課題)									
指定管理費は計画値から増となっている。また、利用料金収入においても、イベント・セミナーの実施による多目的室等の利用増や、機械器具の利用増により、収入全体としては前年比、計画比ともに上回った。									

(2) 支出

支出項目		令和6年度実績	事業計画(当初)	令和7年度実績	前年比		計画比		特記事項(変更理由等)
					(金額)	(%)	(金額)	(%)	
人件費		38,135,803	50,364,078	45,506,880	7,371,077	119.3%	-4,857,198	90.4%	
旅費		209,800	204,600	42,240	-167,560	20.1%	-162,360	20.6%	
食糧費		10,647	11,000	30,120	19,473	282.9%	19,120	273.8%	
消耗品費		737,812	830,014	1,322,361	584,549	179.2%	492,347	159.3%	
燃料費		18,210	11,000	25,978	7,768	142.7%	14,978	236.2%	
印刷製本費		380,244	481,000	306,854	-73,390	80.7%	-174,146	63.8%	
光熱水費		19,920,868	21,120,000	21,944,625	2,023,757	110.2%	824,625	103.9%	
修繕費		817,410	550,000	613,800	-203,610	75.1%	63,800	111.6%	
通信運搬費		415,040	387,400	378,830	-36,210	91.3%	-8,570	97.8%	
保管費		0	0	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	
広告費		34,362	187,000	27,602	-6,760	80.3%	-159,398	14.8%	
手数料		30,865	26,400	64,897	34,032	210.3%	38,497	245.8%	
保険料		61,960	61,960	67,380	5,420	108.7%	5,420	108.7%	
委託料		32,057,760	21,136,144	19,157,042	-12,900,718	59.8%	-1,979,102	90.6%	
使用料及び賃貸費		1,579,300	388,400	442,892	-1,136,408	28.0%	54,492	114.0%	
備品購入費		36,860	165,000	180,544	143,684	489.8%	15,544	109.4%	
負担金		0	0	22,880	22,880	#DIV/0!	22,880	#DIV/0!	
公課費		200	12,000	1,200	1,000	600.0%	-10,800	10.0%	
その他		201,700	360,800	370,500	168,800	183.7%	9,700	102.7%	
自主事業支出		6,301,998	2,800,827	3,319,580	-2,982,418	52.7%	518,753	118.5%	
合計(B)		100,950,839	99,097,623	93,826,205	-7,124,634	92.9%	-5,271,418	94.7%	
(現状分析・課題)									
人員配置の遅れによる人件費の減や、事業計画見直しに伴う委託費の減等により、支出全体としては計画値を下回った。									

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。計画比は事業計画(当初)と比較する。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

2. 経営分析指標

評価指標	令和6年度実績	事業計画(当初)	令和7年度実績	前年比		計画比		特記事項(変更理由等)
				(金額)	(%)	(金額)	(%)	
事業収支(C) (収入(A)－支出(B))	-1,115,028	221,977	9,996,524	11,111,552	-896.5%	9,774,547	4503.4%	
収益率 (事業収支(C)／収入合計(A))	-1.1%	0.2%	9.6%		-862.1%		4308.1%	
利用料金比率 (利用料金収入／収入(A))	16.7%	18.8%	19.8%		118.5%		105.6%	
人件費比率 (人件費／支出(B))	37.8%	50.8%	48.5%		128.4%		95.4%	
外部委託費比率 (外部委託費合計／支出(B))	31.8%	21.3%	20.4%		64.3%		95.7%	
利用者あたり管理コスト (支出(B)／利用者数)	655	661	447	-208	68.2%	-213	67.7%	
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料／利用者数)	450	446	322	-128	71.6%	-124	72.2%	
(現状分析・課題)								
利用料金収入の増加により収入全体が計画値を上回ったことや、人件費や委託費の減により支出全体が計画値を下回ったことで、全体の収支は黒字となった。引き続き、収支バランスの均衡に向けて取り組む必要がある。								

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。計画比は事業計画(当初)と比較する。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

評価(③財務状況)	A
-----------	---

【評価基準(③財務状況)】

収益率(事業収支／収入合計)

A: 0%以上

B: -5%以上、0%未満

C: -5%未満

Ⅲ. 財務状況の確認・評価 取組改善案	施設利用の増加や支出の減により事業収支は黒字化した。今後は、施設の利用促進の取組や広報を継続しつつ、自主事業のワークショップや施設見学の周知体制を強化し、収入増加を図るとともに、施設の運営及びサービス向上に取組み、効率的かつ安定的な管理運営に努める。
------------------------	---

※「Ⅲ. 財務状況の確認・評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(a+1年度)の主な取組改善案を記入すること。

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入－支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支／収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入／収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出／利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料／利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

Ⅳ. 総合評価

1. 目標

評価項目		評価指標	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	目標設定の考え方
成果指標	①利用状況	利用者数	150,000	150,000	150,000	150,000	施設利用者数5万人、一般来館者数10万人を目指す
	②満足度	満足度	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	次年度、全項目でS評価を目指す
財務指標	③財務状況	収益率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	運営継続可能な収支

2. 評価結果

評価項目		評価指標	令和6年度実績	事業計画 (目標値)	令和7年度 実績	前年比	計画比	現状分析・課題	評価 (点数)	取組改善案	令和8年度 目標値
成果指標	①利用状況	利用者数	154,007	150,000	209,755	136.2%	139.8%	令和5年度から強化しているSNS等での情報発信を継続して行ったことや、貸会議室をまとめたポータルサイトへの掲載更新等、イベントでの利用促進についても注力したことから、令和6年度よりも多くの集客を図ることができた。 引き続き、工芸関係のイベント受け入れや近隣施設・周辺自治体等との連携を強化し、施設の認知度向上及び施設利用者の増加に努める必要がある。	S (20)	事業計画に基づき、おおむね良好に実施している。施設の認知度及び稼働率向上のため、引き続きSNS等を活用した県民等への広報及び工芸関係者への施設機器利用に関する周知を実施するとともに、観光客に向けて旅行者等への周知等を実施していく必要がある。	150,000
	②満足度	満足度	88.6%	90.0%	88.0%	99.3%	97.8%	利用者からの要望やご意見に適切に対応し、一定の好評価をいただいている。さらなる満足度向上に向け、引き続き丁寧な対応に努める。	A (10)	ご意見及びご要望等に対しては、随時適切に対応し、引き続きアンケートや入居者面談等から施設利用者及び来館者のニーズの把握に努める。	90.0%
財務指標	③財務状況	収益率	-1.1%	0.2%	9.6%	-862.1%	4308.1%	利用料金収入の増加により収入全体が計画値を上回ったことや、人件費や委託費の減により支出全体が計画値を下回ったことで、全体の収支は黒字となった。引き続き、収支バランスの均衡に向けて取り組む必要がある。	A (5)	施設利用の増加や支出の減により事業収支は黒字化した。今後は、施設の利用促進の取組や広報を継続しつつ、自主事業のワークショップや施設見学の周知体制を強化し、収入増加を図るとともに、施設の運営及びサービス向上に取組み、効率的かつ安定的な管理運営に努める。	0.0%
活動指標	④重点取組事項	入居者向けセミナー・WS	7	4	9	128.6%	225.0%	良好。引き続き異業種交流会の開催や、入居者や工芸関係者を対象としたセミナー・ワークショップを実施する必要がある。	S (10)	民間企業としてのノウハウを活用し、引き続きセミナーやワークショップの実施及び内容の充実に取り組む必要がある。	4
総合評価		前年度実績を踏まえ、ニーズに合わせた入居者支援を継続しつつ施設利用者数の増加に努め、財務状況の改善に取り組むなど、おおむね良好に運営している。今後も引き続き、施設の利用促進の取組や広報を継続し、施設の運営及びサービス向上に取組み、施設利用者の増加及びさらなる満足度向上に努める必要がある。							S (45)		

※重点取組事項の「評価指標」には具体的な取組内容を記載すること。
※「総合評価欄」には、モニタリングの実施結果に基づき、施設の管理運営が適正に行われているか所見を記載すること。
※「現状分析・課題」、「取組改善案」は6－Ⅰ～Ⅲから転記する。
※「 $a+1$ 年度目標値」は、「取組改善案」を踏まえ、現年度の目標を可能な限り数値目標として設定する。

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率
S：110%以上
A：100%以上、110%未満
B：80%以上、100%未満
C：80%未満

②満足度

総合評価における満足度（各評価項目の平均値）
S：90%以上
A：80%以上、90%未満
B：70%以上、80%未満
C：70%未満

③財務状況

収益率（事業収支／収入合計）
A：0%以上
B：-5%以上、0%未満
C：-5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価
S：目標を大きく上回る
A：目標を概ね達成
B：目標を下回る
C：目標を大きく下回る

【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	—	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

【総合評価基準】

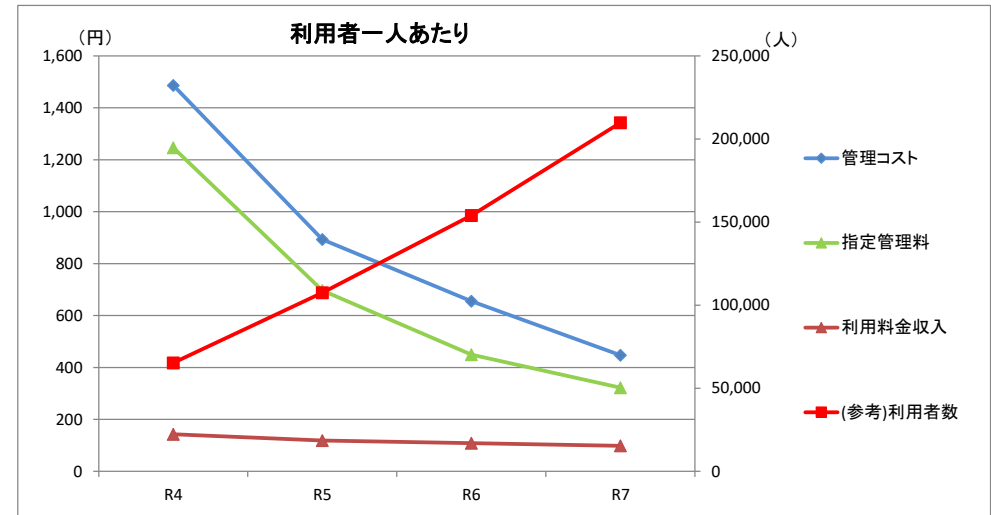
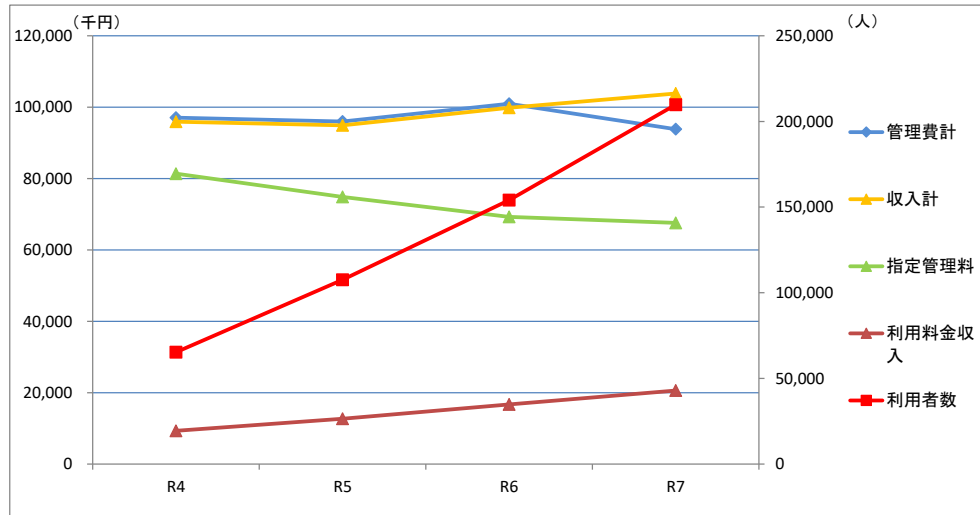
総合評価基準	
S	40点以上 かつ各評価項目においてC評価がないこと
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

経営状況分析シート【施設名称:おきなわ工芸の杜】

指標			単位	指定管理																					
成果指標	利用者数	目標	人		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24
		実績	人		70,000	85,000	110,000	150,000																	
		目標比	%		65.280	107.522	154.007	209.755																	
		R4比	%		93%	126%	140%	140%																	
財務指標	指定管理料		千円		81,369	74,873	69,257	67,577																	
	県負担割合(指定管理料／管理費計)		%		84%	78%	69%	72%																	
	利用料金収入		千円		9,320	12,723	16,715	20,593																	
	利用料金比率(利用料金収入／収入計)		%		10%	13%	17%	20%																	
	維持管理費		千円		3,897	4,921	10,052	12,170																	
	維持管理費比率(維持管理費／収入)		%		4%	5%	10%	12%																	
	自主事業収入		千円		1,278	2,349	3,551	3,275																	
	自主事業比率(自主事業収入／収入計)		%		1%	2%	4%	3%																	
	雑収入		千円		37	42	261	208																	
	雑収入比率(雑収入／収入計)		%		0%	0%	0%	0%																	
	収入計		千円		95,901	94,908	99,836	103,823																	
	管理費計		千円		97,054	96,005	100,951	93,826																	
	収支		千円		-1,153	-1,097	-1,115	9,997																	
	収支率(収支／収入計)		%		-1%	-1%	-1%	10%																	
/単位	一人あたり管理コスト		円		1,487	893	655	447																	
	一人あたり指定管理料		円		1,246	696	450	322																	
	一人あたり利用料金収入		円		143	118	109	98																	

※施設の特性に応じて、経営状況の分析に適した指標の追加・削除や、表示方法の修正を行うこと。

※グラフは直近10年間の実績で作成すること。指定管理者制度導入前に直営の期間がある施設については、指定管理者制度導入直前1年間のデータも含めて作成すること。



実績変動の要因分析

令和7年度	イベント利用やセミナー等の利用により利用料金収入が増加したことや、支出の減により、事業収支は黒字となった。
令和6年度	SNS等を活用した情報発信等の継続した取組により、イベント利用・セミナー等利用が増えたことにより、利用者数及び利用料金収入の増加につながった。
令和5年度	イベント等の件数が増加したことに伴い来館者数が大幅に増加し、利用者一人あたりの管理コストが低下した。
令和4年度	開館初年度のため省略。